

## 鎌田 實講演会 アンケート結果

・大変貴重な講演をしていただき感謝致します。

やわらかく穏やかな言葉、口調の中に力強いことばを感じ、心に響きました。

「できるだけ自分の眼でみる、感じる」

「地域医療には大学でみられないものがたくさんある」

「命が助からなくても、感謝される場合がある」

医療スタッフとして仕事を始めて間もない私に力強いことばをいただきました。

本日は遠いところから、本当にありがとうございました。

また、長崎に来てくださることを楽しみにしております。

・私は27才で、九州大学大学院博士課程で数学を研究しながら、医学部を目指して勉強しています。この年で医学部に入りたいと思った理由は色々あるのですが、将来は私が生まれ育った町である北松浦群（現、佐世保市）小佐々町で医師として医療に貢献したいと思っていました。今回、この会に参加して鎌田先生や調先生のお話をお聞きして、改めてこの年からでも医学部に入って、先生方のように、へき地医療に参加ができればいいなと思うようになれました。本当に、この会に参加できてよかったです。貴重なお話、ありがとうございました。

P・S いつの日か私も長崎大学の「へき地病院再生支援・教育機構」に参加できればいいなあと思います。

・私は、この春から歯学部編入してきたのですが、志望した気持ちや思いを思い出せました。ありがとうございました。

・とても、心に響くお話でした。ありがとうございました。

・とても良かったです。これからの将来を考える上で非常に心を揺さぶられ参考になりました。

・へき地医療に携わる医師の皆さんの、今後の活躍をお祈り致しております。

「人の命を助ける仕事ってかっこいいなあ」と昔から思っていました。その上、困っている人がたくさんいるへき地に行って、医療に従事される方を、心の底から尊敬します。国内外を問わず、貧しい地域で、医療活動ができるとしたら、、、私が医学部に進学できていたら、そう選択したかったです。

・先生のお話を聞かせていただいて、友人から聞いた家庭医のことを思い出しました。病気のみを診るのではなく、人を診る医師もこれからはとても大切だと思います。そのような医師に自分もなりたいと思います。

・何で人の為に生きるのか？利己的に生きた結果で、他の人が利益を得られればよいのでは？そう思っている部分もありました。そう思っている部分もありましたが、しかし今日の講演で“人の為に生きるのは楽しい”というのは、この答えになったと思います。

・私は離島出身です。勤務もしましたが、子供の学校、生活を考えると子育ての間は、離島勤務は難しいと思います。これは、へき地だけでなく都会と地方でもいえるのではないのでしょうか？

・医師にとっての大切なこと。改めて復習させて頂いた気がします。本当に聴講できて良かったと思います。